

項目	取組状況
教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 30 年度担当科目 3年：建設材料、材料実験、4年：RC 工学、基礎研究、5年：卒業研究。環境デザイン実習 専1：構造解析学、専2：工学システム設計演習 ◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点） 実務での実施方法、現物見本、写真などを授業に取り入れ、学生の反応を確認しながら実施 ◆ 特記すべき教育方法の実践例 日本建築総合試験所編：「コンクリート工事の実務」2017年版 六車 照 プレストレストコンクリート、小坂、森田 鉄筋コンクリート構造 SPACE（名城大学：村田研究室）による構造ソフトの使用 ◆ 校長顕彰などの受賞 なし
研究	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 28～30 年度における研究業績 <ul style="list-style-type: none"> ■ 学術論文執筆 30年度はなし ■ 国際会議での発表 なし ■ 学術講演会での発表 なし ◆ 特許 なし ◆ 平成 28～30 年度における外部資金獲得状況 なし ◆ 学会などでの受賞 なし
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 28～30 年度における公開講座・出前授業の取組状況 なし ◆ 平成 28～30 年度における学協会等の委員 なし ◆ 特記すべき社会貢献の内容 9月30日：尼崎市建設部で、建築工事の監理手法について、講演（約2時間） 高知県室戸市、南国市などの監査室建築工事技術監査の補助